SILVER REED

自動紙折り機
Oruman **MA450**

使用説明書
《使用上の注意》

安全上のご注意
この度はシルバー紙折り機をお買い上げ頂きありがとうございます。
この「安全上のご注意」は本製品を安全にお使いいただくための事柄を記載してあります。
ご使用前に「使用説明書」を最後までよくお読みの上、正しくお使い下さい。
また、本誌が必要になったとき、すぐに利用できるように保管してください。

安全にお使いいただくために
本誌及び製品への表示では製品を安全にお使い頂き、貴方や他の人々への危害・財産への損失を防止するために、色々な表示をしていきます。その表示は次の様になっております。

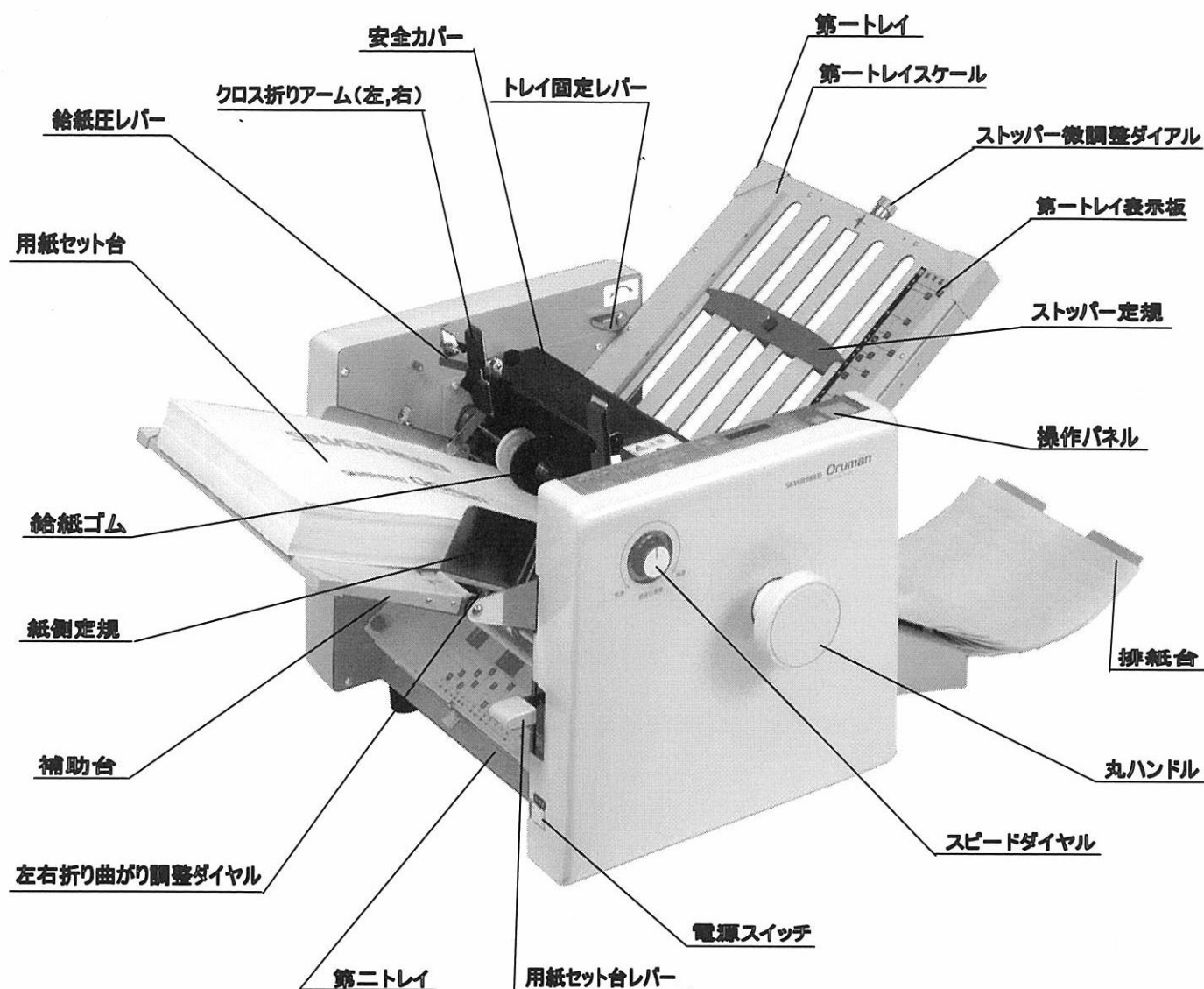
⚠警　告　この表示を無視して誤った取扱をすると、人が死亡又は重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

☆ご自分での修理・分解・改造は絶対にしないでください。感電や発火の恐れがあります。
☆濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の恐れがあります。
☆電源コードを傷つけたり、束ねたり加工したりしないでください。また、重いものを乗せたり引っ張ったり、無理に曲げたりしないでください。火災・感電の恐れがあります。
☆表示された電源・電圧以外では使用しないでください。また、タコ足配線をしないでください。火災の恐れがあります。

⚠注　意　この表示を無視して誤った取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、または物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

☆電源プラグを抜くときはコードを引っ張らないでください。火災・感電の恐れがあります。必ずプラグを持って抜いてください。
☆作動中、回転部に指や物を入れないでください。怪我の原因となります。
☆湿気や埃の多いところに置かないでください。火災の原因となります。
☆引火性の物(ベンジン・シンナーなど)の近くで使用しないでください。爆発や火災の原因となります。
☆コンセントの差込がゆるい場合は使用しないでください。
☆火気に近づけないでください。火災の原因となります。
☆お子様に使用させないでください。怪我の原因となります。
☆電源プラグをコンセントに差し込む時は奥まで完全に差し込んでください。火災の原因となります。
☆長時間使用して本体が熱くなった時は一旦電源スイッチを切り、一度停止してから再度使用するようにしてください。発火の原因となります。
☆長時間使用しない時や停電の時は必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから外してください。発火の原因となります。
☆発熱したり煙が出たり変な臭いがするなど、本体に異常がある場合は使用を中止し、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。火災・感電の原因になります。

シルバー精工株式会社
〒161－8501　東京都新宿区上落合2丁目28番7号　落合高山ビル1F
TEL. 03(5332)7616　FAX. 03(5332)7626
カスタマーサービスセンター　TEL. 03(5332)7636

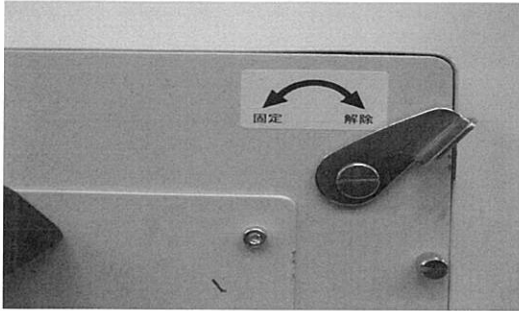
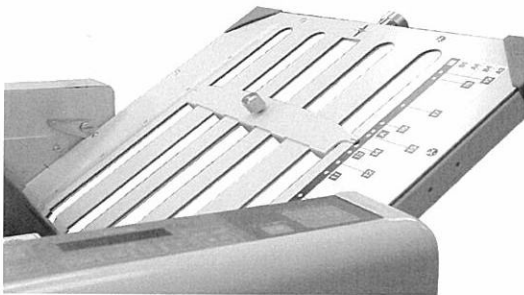
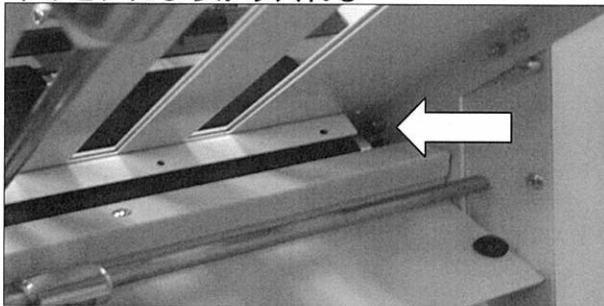
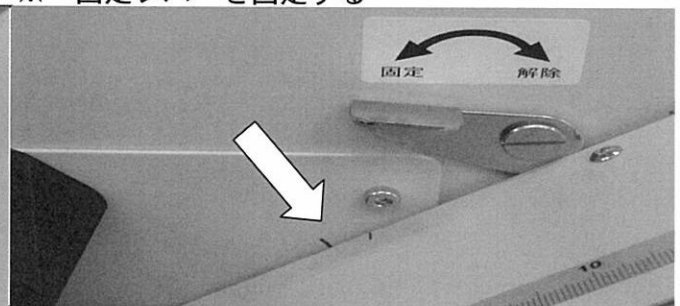
《機械の名称と機能》

※写真は（L）タイプです→排紙台付き
※（A）タイプ→排紙台なし

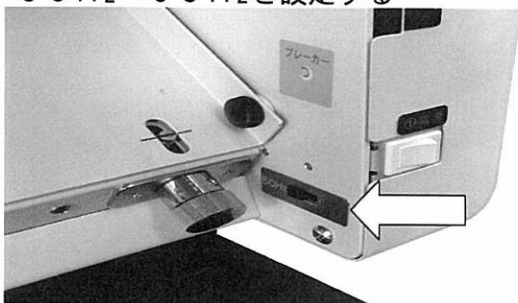
仕様

用紙サイズ	Ｂ７（二つ折り・観音折りのみ）～Ａ３（観音折り不可）
用紙容量	約５００枚
用紙厚さ	５３～１５７ｇ／㎡
紙質	孔版上質紙・上質紙・中質紙・更紙・再生紙・カラーコピー紙　※１特定のアート、コート紙
折り速度	上質紙縦二つ折り時　　約８０～１５０枚／分
消費電力	２００Ｗ
電源容量	ＡＣ１００Ｖ　５０-６０Ｈｚ　５Ａ以上
大きさ　（Ａタイプ）	収納時５９０（Ｗ）×５３７（Ｄ）×３９０（Ｈ）ｍｍ　使用時９２０（Ｗ）×５３７（Ｄ）×４８０（Ｈ）　ｍｍ
（Ｌタイプ）	収納時５９０（Ｗ）×５３７（Ｄ）×３９０（Ｈ）ｍｍ　使用時１０１０（Ｗ）×５３７（Ｄ）×４８０（Ｈ）　ｍｍ
質量	Ａタイプ・・・約３１ｋｇ　　　Ｌタイプ・・・約３５kg
付属部品	クロス折りアーム(右)　(左)　抑止板（赤）（青）

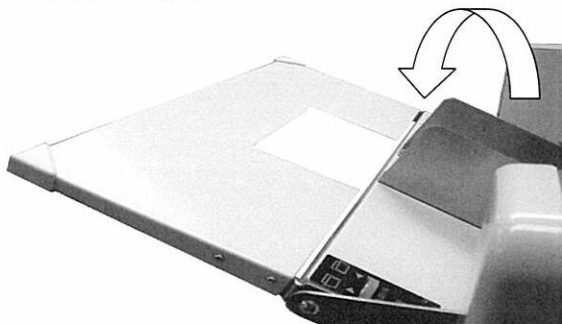
● 仕様及び外観は、改良の為、予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承下さい。

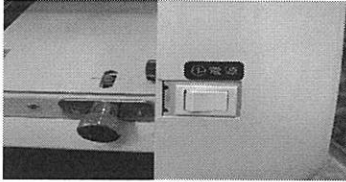
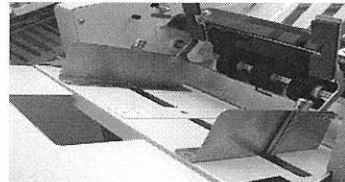
《機械のセット方法》

【１】　固定レバーを横に倒す（解除方向）

【２】　第１トレイをセットする

※　下のピンにしっかり入れる　　　　※　固定レバーを固定する

○　　　　　　×　（赤線を合わせる様にセット）

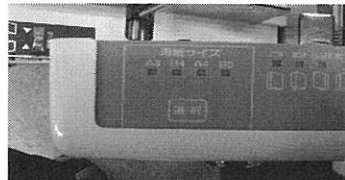
【３】　５０Ｈｚ－６０Ｈｚを設定する

※　西日本で使用する場合→『６０』

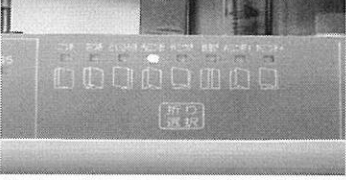
※　東日本で使用する場合→『５０』

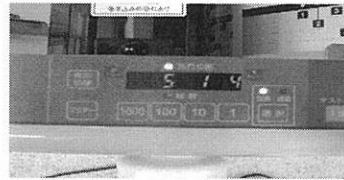
【４】　補助台を開く

《用紙の折り方》

【1】メインスイッチを入れる

【2】紙側定規を開く

※　固定つまみを緩め
　　紙側定規の真ん中をつまんで開いて下さい

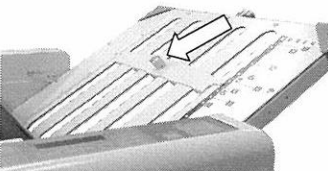
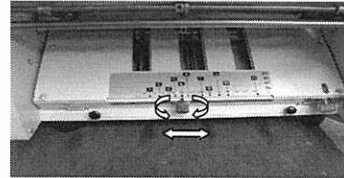
【3】用紙をさばいてセットする

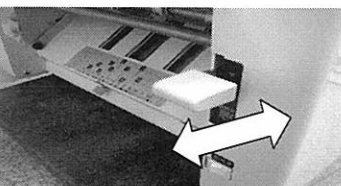
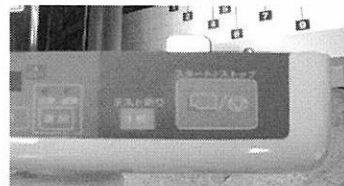
【4】操作パネルから用紙の大きさを設定する

※　用紙のさばき方は（Ｐ７）を参照下さい
※　さばきが悪いと給紙が安定しません（スリップ現象）
※　紙側定規でしっかり用紙を固定しないと折りずれが発生します
※　用紙の向きは（Ｐ５）を参照下さい
※　クロス折りの際は、必ずクロス折りアームで用紙を押えて下さい
　（クロス折りした用紙は両サイドに変形が発生しやすくなります）

【5】操作パネルから折り方を設定する

※　内三つ折り＋/外三つ折り＋にランプ点灯の際は
　　用紙サイズ位置が固定になるので折り方を変更した後に
　　用紙サイズの設定を変更して下さい

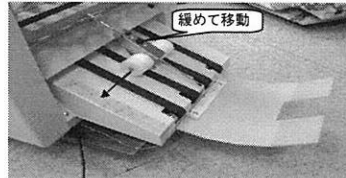
【6】数字が表示されます

左が第２トレイ　右が第１トレイ位置

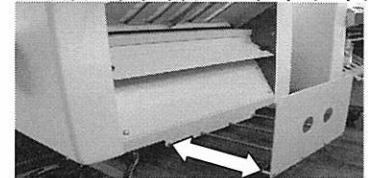
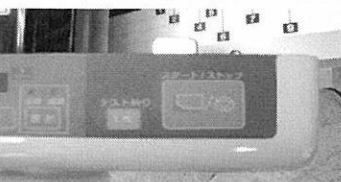
【7】第１トレイ/第２トレイの位置を【６】の数字に設定する

第１トレイ　ネジをゆるめて移動→締めて固定する

第２トレイ　ネジを緩めて移動→締めて固定する（ネジの緩め過ぎに注意下さい

※　厚い用紙を折る際はしっかりネジを固定して下さい、縦ずれが発生します

【8】給紙台レバーを引く

【9】テストボタンを押す

【１０】加算/減算の設定をする

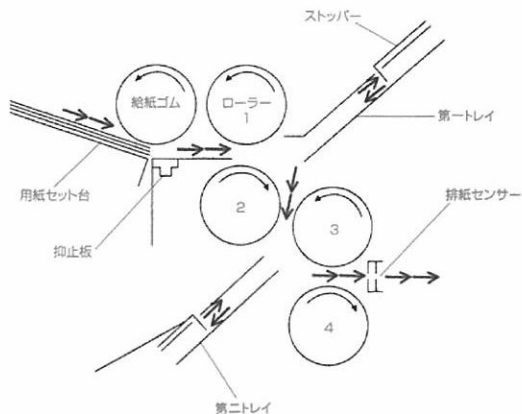
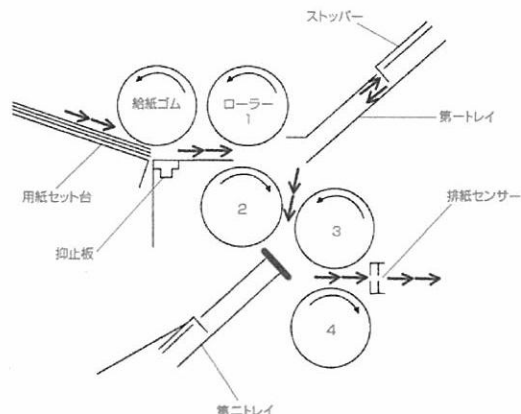
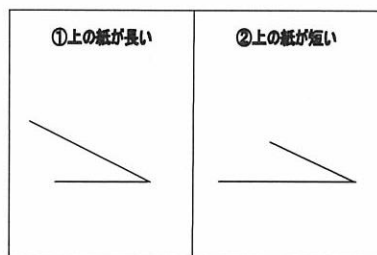
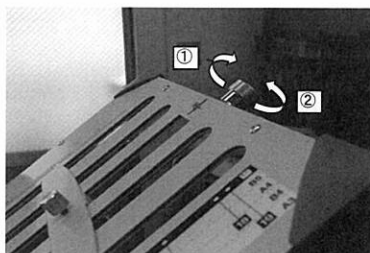
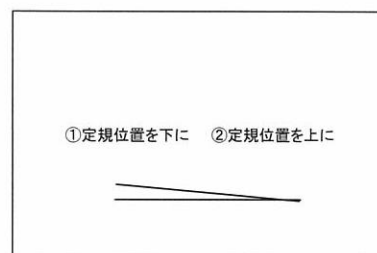
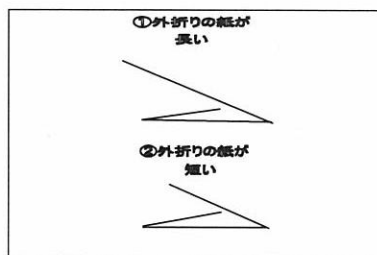
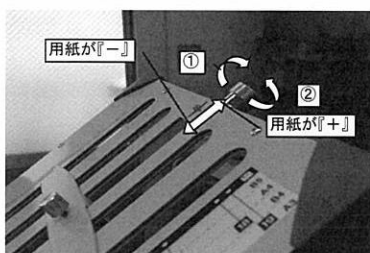
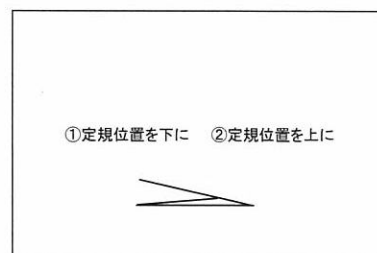
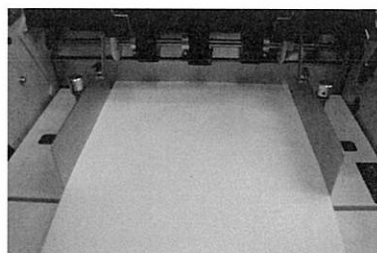
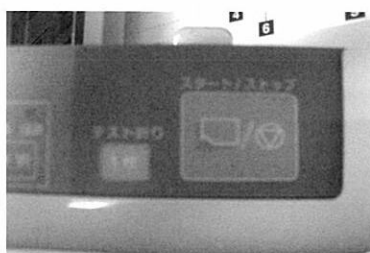
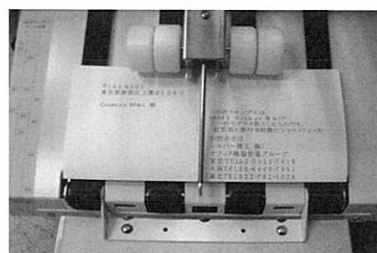
※　減算設定の場合は折りたい枚数を設定する
※　減算設定の際、枚数を設定しないと動きません

【１１】排紙台の位置を合わせ（Ｌ）タイプ　排紙台の位置合わせ（Ａ）タイプ

シールに表示されている位置に移動する　　折れた用紙の幅より少し広めに移動する

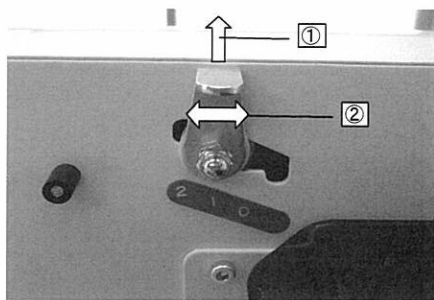
※Ｂ４二つ折りの積載は約３００枚
※Ａ４内三つ折りの積載は約１００枚
※コロ位置を調整しないと、用紙が詰まったり、汚れの原因になります。

【１２】スタート/ストップボタンを押す

※　途中で止めたい時は再度ボタンを押す
※　スピードの目安
　　　薄めの用紙→低速
　　　普通紙→中速～高速
　　　厚めの用紙→高速
　＊上記は、季節・湿気・により変化します
　＊薄めの用紙を高速で折ると『シワ』『折りずれ』『紙詰まり』の原因になります

《用紙の流れ／調整方法》

（1） 厚紙、薄紙によって折りのずれ（縦ずれ）が生じますので、微調整を行ってください
（2） 給紙台に用紙をセットする際の向きを確認下さい
（3） 給紙ゴム、抑止板の消耗、汚れにより給紙圧、抑止圧の調整、又、用紙の厚さによって調整を行って下さい

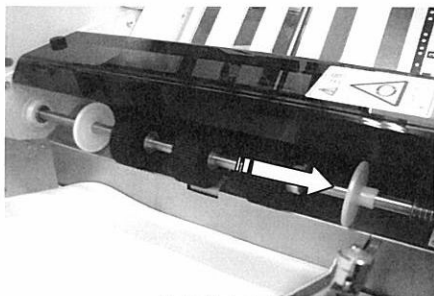
〈用紙の流れ〉

四つ折り/三つ折り/とじ込折り/観音折り　　　　二つ折り

※折れた用紙が縦にずれた時の修正方法

出てきた用紙がずれている　→　ダイヤルを回し調整する／テストボタンで確認　→

出てきた用紙がずれている　→　ダイヤルを回し調整する／テストボタンで確認　→

※セットする用紙の向き

下向きにセットする　→　テストボタンを押して確認する

印刷面が反対の場合は反対にセットする

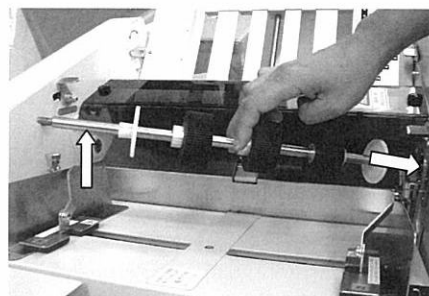
※　内三つ折り→印刷面を見える様に折りたい時は、印刷面を下向きにセット
※　二つ折り→印刷面を隠す様に折りたい時は、印刷面を上向きにセット

※　給紙圧の調整方法・・・用紙がスリップし中に入っていかない

給紙レバー

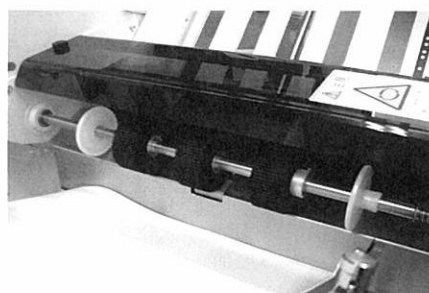
☆上にあげ、バネ圧を強くする

☆基本ポジションは下記を確認願います

※　抑止圧の調整方法・・・用紙がまとめて入ってしまう（重送）

給紙軸を外す

→

手前に引いて上に持ち上げ外す

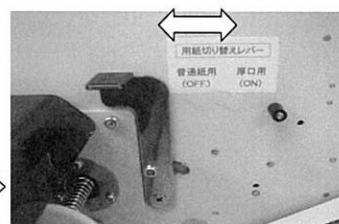
数字を上げる

→

再度セット

＊さばき音が発生する際は、抑止圧を1段づつ下げて下さい
＊用紙が何枚もまとめて入る現象の際は、抑止圧を1段づつ上げて下さい
＊ポジション変更の際は、必ず用紙を再度セットした後に切り替えて下さい
＊上記は、季節・湿気により変化します

※給紙圧の基本ポジション

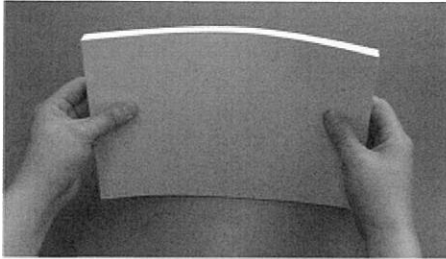
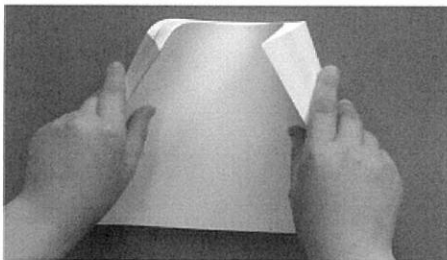
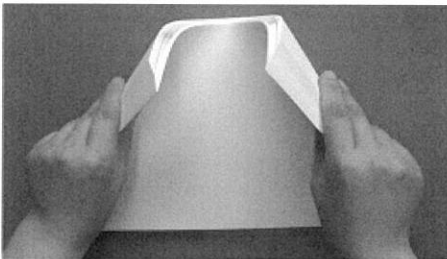
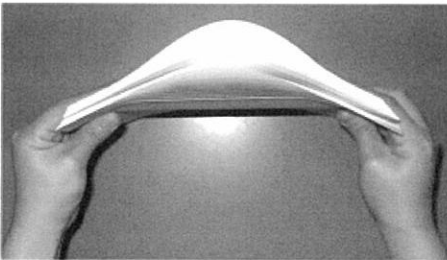
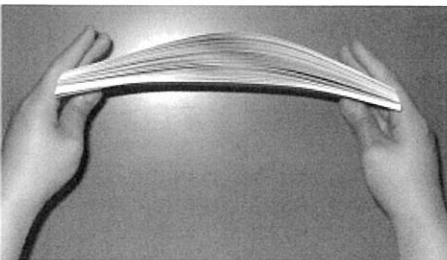
薄め用紙	→	『0』か『1』
通常コピー用紙	→	『1』か『2』
厚紙	→	『2』か切替レバーをONにする ⇒

用紙切り替えレバー
普通紙用（OFF）　厚口用（ON）

＊スリップ現象が起きた場合、給紙圧を1段づつ上に上げて下さい
＊ポジション変更の際は、必ず用紙を再度セットした後に切り替えて下さい
＊上記は、季節・湿気により変化します

※抑止圧の基本ポジション

薄め用紙	→	『2』か『3』
通常コピー用紙	→	『2』
厚紙	→	『2』か『1』

用紙のさばき方

※スリップや重送などを防ぐため、用紙を折る前に必ず
「紙さばき」(用紙と用紙の間に空気を入れる作業) を行って下さい。

① 用紙を重ねて持つ

② 両側から用紙を内側に曲げ、用紙の広がった部分を
人差し指で押さえる

③ 人差し指で用紙を押さえたまま、親指で内側の用紙を
押さえる

④ 人差し指・親指で用紙を押さえたまま用紙を立てると、
左の写真のように用紙と用紙の間にすき間ができ、
空気が入り、用紙がさばけます

⑤ そのまま落として用紙を揃える
逆側も同じように①～⑤の順でさばくとなお良い

#《トラブル》

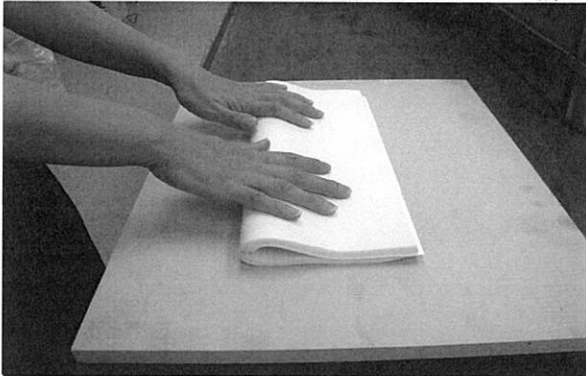
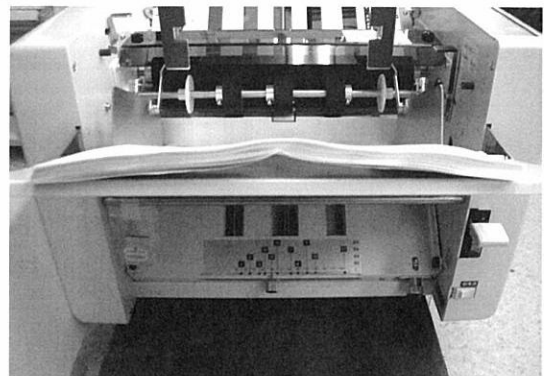
【トラブルの対処方法　1】

①からテストボタンを押して確認願います・・・直らない際は②→③の順番に進んで下さい

用紙がうまく中に入っていかない！

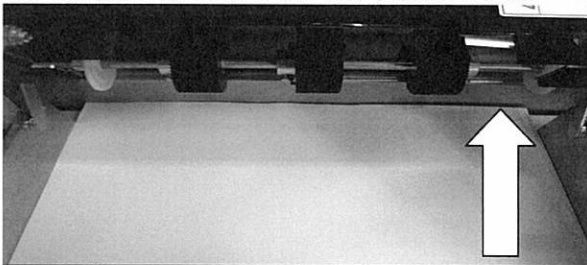
① 用紙を再度、さばいてセットし直して下さい
② 給紙ゴムの真ん中のゴムを拭いて下さい→用紙に付着しているパウダーでスリップ現象が発生する場合があります
③ 給紙圧を強くして下さい→給紙圧『2』で解消できない場合は切替レバーを『ON』に切り替えて下さい
④ 給紙ゴムを交換して下さい→カスタマーセンターへご連絡
※ 上記トラブルは厚い用紙に現象が発生しやすい（クロス折り等）
※ ③切替レバーを『ON』にする際は、必ず給紙台を上げた状態で切り替えをお願いします
＊給紙台レバーが重くなり動作が固くなります
＊『ON』使用後は必ず元の『OFF』に切り替えて下さい。他の用紙では圧力が強すぎる可能性があります

用紙がまとめて折れてしまう！

① 少なめにまとめた用紙を縦方向に二つに折って下さい

1

2

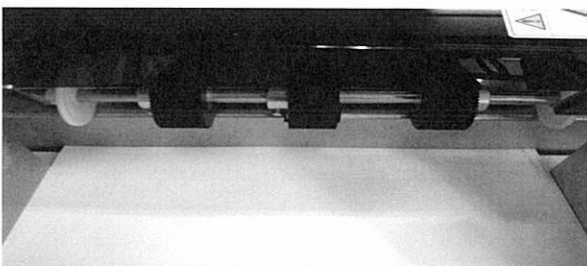
② 抑止板を拭いて下さい
③ 抑止圧を強くして下さい→スリップが発生の際は給紙圧を強くして下さい
④ 抑止板を交換して下さい

用紙が横ずれする！

① セットした用紙が紙側定規でしっかり固定されているか確認して下さい
② 用紙が水平になっているか確認して下さい→水平になる様、調整ダイヤルを回して下さい

×（右側に隙間ができている）

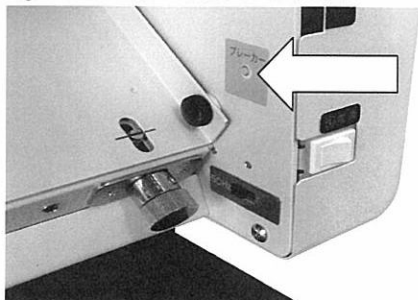
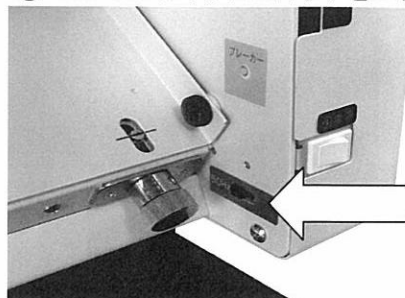
調整ダイヤル

＊調整する際は、給紙台を下げ、紙側定規固定を緩めてから調整願います

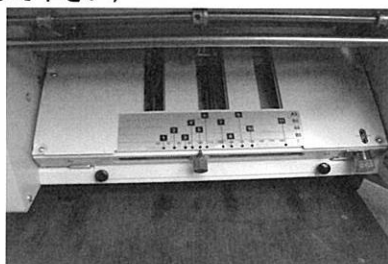
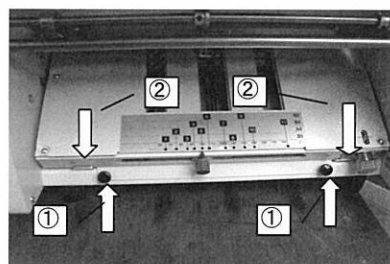
○

③ 給紙ゴム、抑止板を交換して下さい

【トラブルの対処方法　2】

電源が入らない！

① ブレーカーを押して下さい

② 50-60サイクルスイッチを正確に

紙詰まり！

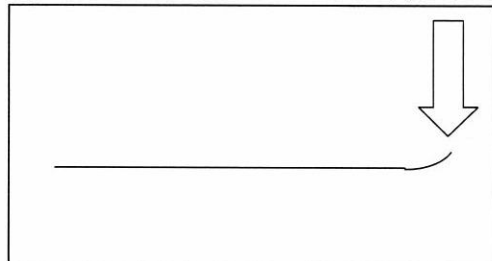
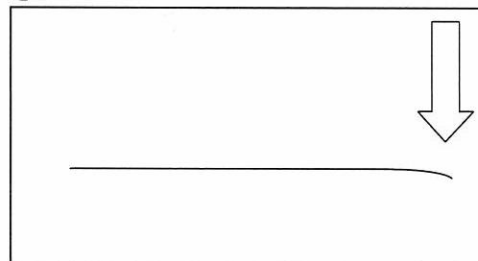
① トレイ内（第1・第2トレイを外して下さい）

第1トレイ

第2トレイ

①ネジを外す
②引っ掛かっている状態から上に上げる

② ローラー内

丸ハンドルを回す

用紙が詰まって変な折り方になる！

① 折る前の用紙が反っていたり、たれていないか確認下さい

用紙の反り

用紙のたれ

対応　1

→

対応　2

《消耗品》

消耗部品

※消耗部品の寿命は、およそ以下の通りである。(紙質及び設置環境により異なります。)

◎給紙ゴム交換　→　約150,000～300,000枚(PPC)

◎抑止板交換　→　約150,000～300,000枚(PPC)
◎Oリング交換　→　約500,000～1,000,000枚
◎第1～4ゴムローラー　→　約1,000,000～5,000,000枚
◎メインモーター　→　約1,000,000枚
◎Vベルト　→　約500,000～1,500,000枚
◎給紙ゴム軸　→　約500,000枚
◎ロールクラッチAssy　→　約500,000～1,000,000枚

消耗部品

INDEX	部品番号	部　品　名
1	NB2-3046B	給紙ゴム
2	NA2-6470A	抑止板(白)(赤)(青)
3	NA2-0085B	Oリング
4		第1～4ゴムローラー
5	NA1-0159D	メインモーター
6	NA1-0146B	Vベルト　M20
7	NA1-1041B	Vベルト　M21
8	NB3-3122B	給紙ゴム軸
9	NE3-0253C	ロールクラッチAssy
10	NE3-3000D	給紙ゴム軸組立交換キット

※保証期間中でも上記部品交換については有償とさせていただきます。